



2024(令和6)年度 学校だより (令和6年9月24日発行)

きぬぎむ

栃木県小山市立絹義務教育学校 〒323-0155
TEL 0285-49-0141 FAX 0285-49-2764
e-mail kinugimu@oyama-tcg.ed.jp

栃木県小山市大字福良2240番地1

発行者 校長 中島 康成



まだまだ昼間の暑さは厳しい日も多いですが、朝夕はさわやかな秋の空気を感じられる季節となりました。部活動の新人戦や各学年の行事に向けての準備、そしてきぬぎむ祭の係活動も始まりました。2学期も、子どもたちの元気な声と笑顔があふれるスタートとなりました。

10月9日には上半期の終了を迎え、「学びのすがた」「通知表」をお渡しします。お子様と一緒に上半期を振り返り、下半期に向けて新たな目標をぜひ立ててほしいと思います。よろしくお願いいたします。

中学生派遣事業への参加

8月5～7日に実施された、小山市・結城市・野木町合同による広島平和記念式典中学生派遣に、本校からは8年生のHAさん、YTさんが参加しました。6日に行われた広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式に参列し、広島市の中学生による平和宣言に心を動かされました。また、平和記念資料館、原爆ドーム等を見学し、後期課程生全員で作成した千羽鶴を奉納しました。

また、小山市では、国際社会に対応できるグローバルな人材を育成するため、姉妹都市であるオーストラリアのケアンズ市に中学生を派遣しています。今年は8月20～26日に実施され、本校からは9年生のSMさんと、引率指導者として本校教諭も参加しました。訪問した学校の生徒の皆さんやホストファミリーとの交流を通して貴重な経験をすることができました。



黒板アートの作成

小山商工会議所青年部が主催し、今年で3年目の開催となる黒板アートを、夏休みの期間を利用して9年生のMNさん、YYさんが作成しました。小山市内中学校・義務教育学校11校の作品が、「黒板アートdeアオハル2024」として、8月23日～9月26日にかけて、市内各所で展示されています。その後、西校舎昇降口に展示しますので、来校された際には、ぜひご覧いただきたいと思います。



栃木ゴールデンブレイブスの試合観戦

9月1日、小山総合運動公園で行われた、栃木ゴールデンブレイブスの今季最終戦に、有限会社カーリサイクルホソノ様より招待していただきました。「母校の子どもたちにスポーツの楽しさを知ってほしい」との趣旨でご招待いただき、参加を希望した20名の児童が観戦しました。当日は、突然の降雨による1時間ほどの中断もありましたが、応援グッツ等のプレゼントもいただき、熱心に応援する子どもたちの姿は、とても楽しそうでした。ご招待いただき、本当にありがとうございました。



学校保健委員会

9月4日、保健委員会の児童生徒、5・7・8・9年生、小山市健康増進課の絹地区担当保健師・健康推進委員会絹支部・学校医・学校薬剤師・希望していただいた保護者の皆様、そして教職員が一堂に会し、学校保健委員会を開催しました。

まず、4～6年の保健委員の児童が、本校の児童生徒のアンケート結果をもとに、SNSの使用状況と睡眠時間の関連等を「SNSにおける健康被害について」にまとめ、発表しました。続いて、学校医の斎藤眼科医院の先生による講話となりました。心身の健康のために、質のよい十分な睡眠がとても大切である。そして、よりよい睡眠を得るには、就寝前2時間以内は、スマホ等のブルーライトは避けるべきであるとお話いただきました。それを受け、参加者が「なかよし班」をもとにした10グループに分かれ、これから取り組むこと・避けるべきことについて話し合い、7～9年の保健委員が代表としてまとめた意見を発表しました。学んだことをこれからの生活にぜひ生かして欲しいと思います。



稲刈り（田んぼの学校）

9月13日、田んぼの学校実行委員会の皆様のご指導のもと、認定こども園のぶしま幼稚園の園児と本校の5年生が、一緒に稲刈りを行いました。のぶしま幼稚園の園庭での開会式の後、田んぼの学校実行委員の方から稲の刈り方を詳しく教えていただき、5年生と園児がペアとなって稲刈りを行いました。4月の種蒔き、5月の田植えからここまで、地主の宮田様に大切に育てていただいたお米を無事に収穫することができました。後日、給食としていただく予定です。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。



先輩に聞く会

同窓会の皆様が「先輩に聞く会」を開催してくださいました。この会は、本校を卒業した先輩から働くことの目的や喜びなどを伺い、進路について主体的に考え、自己実現への意欲を高める機会とすることを目的としています。

今年度は、梁小・絹中を卒業され、ゴミの分別回収や焼却などを行っている小山広域保健衛生組合にお勤めのKE様を講師にお迎えしました。中学時代の思い出や高校・大学で参加したジュニアリーダースクラブの活動の様子、そして小山市で10月からスタートする「燃やすすかないごみ」の指定ごみ袋制度についてお話しいただきました。現在、リサイクルが可能な紙類やプラスチックの多くが可燃ゴミとして燃やされているそうです。資源としてリサイクルすることでごみが減らせます。一人一人の心がけが大切なので、ぜひ、絹義務生が率先して実践していければと思います。



【絹義務教育学校ホームページ】に掲載しています。
写真等も鮮明にご覧いただけますので、ぜひご確認ください。

<https://www.city.oyama.tochigi.jp/school/compulsory-school/kinu/>

